

平成 27 年 9 月 25 日
第 9 回エリア会議資料

■ 「ルネッサンス in 洋光台」の進展状況について

UR 都市機構神奈川エリア経営部

平成 24 年 5 月に発足した洋光台エリア会議では、これまで「ルネッサンス in 洋光台」として、洋光台エリアの活性化を議論してきました。これまでに CC ラボの開設、駅前景観の刷新（外壁修繕）など、その成果も具体化してきました。

現在、この試みは「団地の未来プロジェクト」として深化させ、エリア会議と連携しながら、建築家・隈研吾氏、クリエイティブディレクター佐藤可士和氏の下、2 つの取り組みを進めています。

1) 中央団地広場改修の概要（案） ～ 情報やにぎわい発信の拠点として

- ・ 洋光台の「顔」となる、サンモール洋光台駅前広場の改修。
- ・ エリア会議やワークショップでの駅前広場のあり方提案を受けて、現在設計中。
- ・ アーケードの代わりに、広場廻りに庇をかけて、一部デッキを設けた立体的な縁側空間を創出。舗装仕上げを再生材とするなど、やわらかな空間を演出。（図①）
- ・ 今年度、実施設計を行い、来年度（H28 年度）に工事着工を予定。

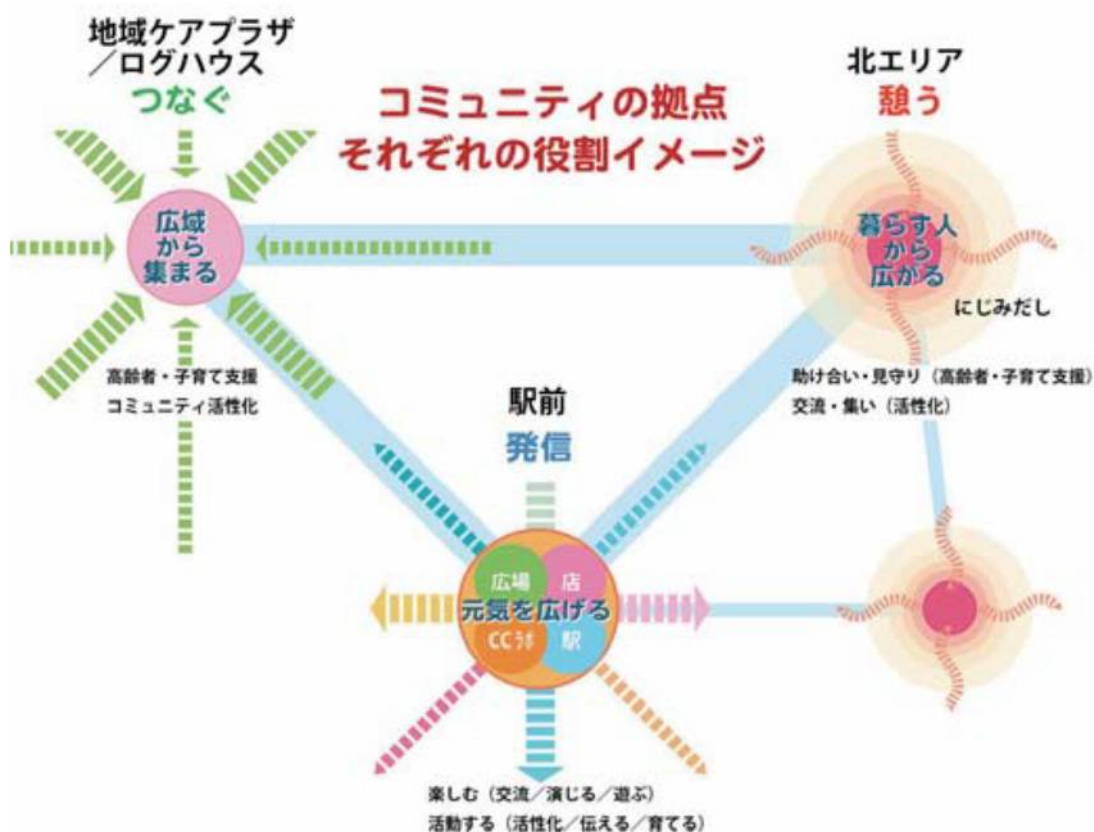


図①：中央団地広場改修の整備イメージ

2) 北団地集会所建築アイデアコンペ

～ 北地区のコミュニティ活動の拠点として

- ・ 「集まって住む未来」をテーマに、集会所と周辺外構の再整備について、新たな役割、デザインの提案を求めるアイデアコンペを9月17日より実施予定。
- ・ 洋光台には、店舗が集積し広場などの賑わいがある「洋光台駅前」、高齢者や子育て支援の場である「地域ケアプラザ」がありますが、それらとは違った、新たな役割をもつコミュニティの拠点が検討されています。(図②)
- ・ 年内に提案受付の後、書類審査と公開審査を経て、来春に選定・結果発表。
- ・ 審査委員には、隈研吾氏、佐藤可士和氏らに加えて、洋光台まちづくり協議会から三上会長にご参画予定。
- ・ 最優秀案をベースに、平成28年度以降に設計及び工事の予定。



図②：北団地集会所のコミュニティ拠点役割イメージ(第6回洋光台エリア会議より)

以 上